



誰もが住んでみたい村に  
農業農村整備

令和8年度

国営土地改良事業地区調査  
笠野原地区事業計画書補足検討業務

# 積算書

(当初)

九州農政局  
南部九州土地改良調査管理事務所













事業名	国営土地改良事業地区調査					
業務名	笠野原地区事業計画書補足検討業務					
業務別業務名: 設計業務						
	名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
	直接人件費				14,254,000	
	・直接人件費	1.000	式		14,254,000	
	・・直接人件費	1.000	式		14,254,000	
	・・・設計作業費 1. 準備作業	1.000	式	963,000	963,000	1式当たり
S63007	1-1. 現地調査 0.00人, 0.00人, 3.00人, 3.00人, 0.00人, 0.00人	1.000	式	548,400	548,400	歩A・単A S単 11号
S63003	1-2. 既存資料の把握・整理 0.00人, 0.00人, 2.00人, 2.00人, 3.00人, 0.00人, 0.00人	1.000	式	414,900	414,900	歩A・単A S単 1号
	合 計				963,300	
	・・・設計作業費 2. 用水計画の更新	1.000	式	2,956,000	2,956,000	1式当たり
S63003	2-1. 用水計画諸元の整理 0.00人, 0.00人, 2.00人, 4.00人, 6.00人, 6.00人, 4.00人	1.000	式	1,089,800	1,089,800	歩A・単A S単 2号
S63003	2-2. 計画基準年の検証 0.00人, 0.00人, 1.00人, 3.00人, 3.00人, 1.00人	1.000	式	445,600	445,600	歩A・単A S単 3号
S63003	2-3. 水収支計算 0.00人, 0.00人, 2.00人, 4.00人, 8.00人, 8.00人, 8.00人	1.000	式	1,420,200	1,420,200	歩A・単A S単 4号
	合 計				2,955,600	
	・・・設計作業費 3. 河川協議資料の更新	1.000	式	3,007,000	3,007,000	1式当たり
S63003	3-1. 河川協議書(案)の更新 0.00人, 0.00人, 5.00人, 14.00人, 18.00人, 14.00人, 8.00人	1.000	式	3,006,900	3,006,900	歩A・単A S単 5号
	合 計				3,006,900	
	・・・設計作業費 4. 土地改良事業計画書の更新	1.000	式	5,840,000	5,840,000	1式当たり
S63003	4-1. 土地改良事業計画書(案)の更新 0.00人, 0.00人, 3.00人, 3.00人, 5.00人, 7.00人, 7.00人	1.000	式	1,201,400	1,201,400	歩A・単A S単 6号
S63003	4-2. 土地改良事業計画書(案)補足説明資料の更新 0.00人, 0.00人, 3.00人, 5.00人, 15.00人, 15.00人, 15.00人	1.000	式	2,453,200	2,453,200	歩A・単A S単 7号
S63003	4-3. 新規地区検討会資料の更新 0.00人, 0.00人, 2.00人, 5.00人, 11.00人, 15.00人, 15.00人	1.000	式	2,185,100	2,185,100	歩A・単A S単 8号
	合 計				5,839,700	
	・・・設計作業費 5. 照査	1.000	式	213,000	213,000	1式当たり
S63003	5. 照査 0.00人, 0.00人, 3.00人, 0.00人, 0.00人, 0.00人, 0.00人	1.000	式	212,700	212,700	歩A・単A S単 9号
	合 計				212,700	
	・・・設計作業費 6. 点検取りまとめ	1.000	式	453,000	453,000	1式当たり
S63003	6. 点検取りまとめ 0.00人, 0.00人, 1.00人, 2.00人, 2.00人, 2.00人, 2.00人	1.000	式	453,100	453,100	歩A・単A S単 10号
	合 計				453,100	
	・・・打合せ(設計)	1.000	式	639,000	639,000	1式当たり
S63010	打合せ(設計業務基準日額) 一般工種, 着手前・最終, 1.00人, 1.00人, 0.00人, 0.00人, 0.5日, 0.56日	2.000	回	141,510	283,020	歩A・単A S単 13号
S63010	打合せ(設計業務基準日額) 一般工種, 中間, 0.00人, 1.00人, 1.00人, 0.00人, 0.5日, 0.56日	3.000	回	118,614	355,842	歩A・単A S単 14号
	合 計				638,862	
	・・・基準日額 現地調査	1.000	式	183,000	183,000	1式当たり
S63007	現地調査 0.00人, 0.00人, 1.00人, 1.00人, 1.00人, 0.00人, 0.00人	1.000	式	182,800	182,800	歩A・単A S単 12号
	合 計				182,800	





事業名	国営土地改良事業地区調査
業務名	笠野原地区事業計画書補足検討業務

業務別業務名:設計業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S単-1号 ***					
S63003	1-2. 既存資料の把握・整理 設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,2.00人,2.00人,3.00人,0.00人,0.00人		式		1.000	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	3.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	2.000	人	70,900	141,800	
R04004	技師(A)	2.000	人	62,600	125,200	
R04005	技師(B)	3.000	人	49,300	147,900	
	合計				414,900	算出数量 1.000 式
	単価		式		414,900	
	*** S単-2号 ***					
S63003	2-1. 用水計画諸元の整理 設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,2.00人,4.00人,6.00人,6.00人,4.00人		式		1.000	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	4.00人				
	5)技師Bの人数	6.00人				
	6)技師Cの人数	6.00人				
	7)技術員の人数	4.00人				
R04003	主任技師	2.000	人	70,900	141,800	
R04004	技師(A)	4.000	人	62,600	250,400	
R04005	技師(B)	6.000	人	49,300	295,800	
R04006	技師(C)	6.000	人	42,500	255,000	
R04007	技術員	4.000	人	36,700	146,800	
	合計				1,089,800	算出数量 1.000 式
	単価		式		1,089,800	
	*** S単-3号 ***					
S63003	2-2. 計画基準年の検証 設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.00人,1.00人,3.00人,3.00人,1.00人		式		1.000	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	3.00人				
	6)技師Cの人数	3.00人				
	7)技術員の人数	1.00人				
R04003	主任技師	1.000	人	70,900	70,900	
R04004	技師(A)	1.000	人	62,600	62,600	
R04005	技師(B)	3.000	人	49,300	147,900	
R04006	技師(C)	3.000	人	42,500	127,500	
R04007	技術員	1.000	人	36,700	36,700	
	合計				445,600	算出数量 1.000 式
	単価		式		445,600	

事業名	国営土地改良事業地区調査
業務名	笠野原地区事業計画書補足検討業務

業務別業務名:設計業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S単- 4号 ***					
S63003	2-3. 水収支計算		式		1.000	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,2.00人,4.00人,8.00人,8.00人,8.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	4.00人				
	5)技師Bの人数	8.00人				
	6)技師Cの人数	8.00人				
	7)技術員の人数	8.00人				
R04003	主任技師	2.000	人	70,900	141,800	
R04004	技師(A)	4.000	人	62,600	250,400	
R04005	技師(B)	8.000	人	49,300	394,400	
R04006	技師(C)	8.000	人	42,500	340,000	
R04007	技術員	8.000	人	36,700	293,600	
	合計				1,420,200	算出数量 1.000 式
	単価		式		1,420,200	
	*** S単- 5号 ***					
S63003	3-1. 河川協議書(案)の更新		式		1.000	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,5.00人,14.00人,18.00人,14.00人,8.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	5.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	14.00人				
	5)技師Bの人数	18.00人				
	6)技師Cの人数	14.00人				
	7)技術員の人数	8.00人				
R04003	主任技師	5.000	人	70,900	354,500	
R04004	技師(A)	14.000	人	62,600	876,400	
R04005	技師(B)	18.000	人	49,300	887,400	
R04006	技師(C)	14.000	人	42,500	595,000	
R04007	技術員	8.000	人	36,700	293,600	
	合計				3,006,900	算出数量 1.000 式
	単価		式		3,006,900	
	*** S単- 6号 ***					
S63003	4-1. 土地改良事業計画書(案)の更新		式		1.000	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,3.00人,3.00人,5.00人,7.00人,7.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	3.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	3.00人				
	5)技師Bの人数	5.00人				
	6)技師Cの人数	7.00人				
	7)技術員の人数	7.00人				
R04003	主任技師	3.000	人	70,900	212,700	
R04004	技師(A)	3.000	人	62,600	187,800	
R04005	技師(B)	5.000	人	49,300	246,500	
R04006	技師(C)	7.000	人	42,500	297,500	
R04007	技術員	7.000	人	36,700	256,900	
	合計				1,201,400	算出数量 1.000 式

事業名	国営土地改良事業地区調査
業務名	笠野原地区事業計画書補足検討業務

業務別業務名:設計業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	単 価		式		1,201,400	
	*** S単- 7号 ***					
S63003	4-2. 土地改良事業計画書(案)補足説明資料の更新		式		1,000	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,3.00人,5.00人,15.00人,15.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	3.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	5.00人				
	5)技師Bの人数	15.00人				
	6)技師Cの人数	15.00人				
	7)技術員の人数	15.00人				
R04003	主任技師	3.000	人	70,900	212,700	
R04004	技師(A)	5.000	人	62,600	313,000	
R04005	技師(B)	15.000	人	49,300	739,500	
R04006	技師(C)	15.000	人	42,500	637,500	
R04007	技術員	15.000	人	36,700	550,500	
	合 計				2,453,200	算出数量 1,000 式
	単 価		式		2,453,200	
	*** S単- 8号 ***					
S63003	4-3. 新規地区検討会資料の更新		式		1,000	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,2.00人,5.00人,11.00人,15.00人,15.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	5.00人				
	5)技師Bの人数	11.00人				
	6)技師Cの人数	15.00人				
	7)技術員の人数	15.00人				
R04003	主任技師	2.000	人	70,900	141,800	
R04004	技師(A)	5.000	人	62,600	313,000	
R04005	技師(B)	11.000	人	49,300	542,300	
R04006	技師(C)	15.000	人	42,500	637,500	
R04007	技術員	15.000	人	36,700	550,500	
	合 計				2,185,100	算出数量 1,000 式
	単 価		式		2,185,100	
	*** S単- 9号 ***					
S63003	5. 照査		式		1,000	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,3.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	3.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.00人				
	5)技師Bの人数	0.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	3.000	人	70,900	212,700	
	合 計				212,700	算出数量 1,000 式
	単 価		式		212,700	

事業名	国営土地改良事業地区調査
業務名	笠野原地区事業計画書補足検討業務

業務別業務名: 設計業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S単- 10号 ***					
S63003	6.点検取りまとめ		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人, 0.00人, 1.00人, 2.00人, 2.00人, 2.00人, 2.00人			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 技師長の人数	0.00人		基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	
	3) 主任技師の人数	1.00人		深夜時間: 0.0		
	4) 技師Aの人数	2.00人				
	5) 技師Bの人数	2.00人				
	6) 技師Cの人数	2.00人				
	7) 技術員の人数	2.00人				
R04003	主任技師	1.000	人	70,900	70,900	
R04004	技師 (A)	2.000	人	62,600	125,200	
R04005	技師 (B)	2.000	人	49,300	98,600	
R04006	技師 (C)	2.000	人	42,500	85,000	
R04007	技術員	2.000	人	36,700	73,400	
	合計				453,100	算出数量 1.000 式
	単価		式		453,100	
	*** S単- 11号 ***					
S63007	1-1. 現地調査		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業) 0.00人, 0.00人, 3.00人, 3.00人, 3.00人, 0.00人, 0.00人			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 技師長の人数	0.00人		基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	
	3) 主任技師の人数	3.00人		深夜時間: 0.0		
	4) 技師Aの人数	3.00人				
	5) 技師Bの人数	3.00人				
	6) 技師Cの人数	0.00人				
	7) 技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師 外業	3.000	人	70,900	212,700	
R04004	技師 (A) 外業	3.000	人	62,600	187,800	
R04005	技師 (B) 外業	3.000	人	49,300	147,900	
	合計				548,400	算出数量 1.000 式
	単価		式		548,400	
	*** S単- 12号 ***					
S63007	現地調査		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業) 0.00人, 0.00人, 1.00人, 1.00人, 1.00人, 0.00人, 0.00人			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 技師長の人数	0.00人		基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	
	3) 主任技師の人数	1.00人		深夜時間: 0.0		
	4) 技師Aの人数	1.00人				
	5) 技師Bの人数	1.00人				
	6) 技師Cの人数	0.00人				
	7) 技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師 外業	1.000	人	70,900	70,900	
R04004	技師 (A) 外業	1.000	人	62,600	62,600	
R04005	技師 (B) 外業	1.000	人	49,300	49,300	
	合計				182,800	算出数量 1.000 式
	単価		式		182,800	
	*** S単- 13号 ***					
S63010	打合せ (設計業務基準日額)		回		1.000 回	歩A 当たり算出

事業名	国営土地改良事業地区調査					
業務名	笠野原地区事業計画書補足検討業務					
業務別業務名: 設計業務						
コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	打合せ (設計業務基準日額) 一般工種, 着手前・最終, 1.00人, 1.00人, 0.00人, 0.00人, 0.5日, 0.56日			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	日			豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
	1) 設計工種	一般工種		深夜時間: 0.0		
	2) 打合せ	着手前・最終				
	3) 設計用主任技師人数	1.00人				
	4) 設計用技師(A)人数	1.00人				
	5) 設計用技師(B)人数	0.00人				
	6) 設計用技師(C)人数	0.00人				
	7) 打合せ日数	0.500日				
	8) 往復移動日数	0.560日				
R04003	主任技師		1.060 人	70,900	75,154	
R04004	技師 (A)		1.060 人	62,600	66,356	
	合計				141,510	算出数量 1.000 回
	単価		回		141,510	
	*** S単- 14号 ***					
S63010	打合せ (設計業務基準日額)				1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ (設計業務基準日額) 一般工種, 中間, 0.00人, 1.00人, 1.00人, 0.00人, 0.5日, 0.56日			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 設計工種	一般工種		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
	2) 打合せ	中間		深夜時間: 0.0		
	3) 設計用主任技師人数	0.00人				
	4) 設計用技師(A)人数	1.00人				
	5) 設計用技師(B)人数	1.00人				
	6) 設計用技師(C)人数	0.00人				
	7) 打合せ日数	0.500日				
	8) 往復移動日数	0.560日				
R04004	技師 (A)		1.060 人	62,600	66,356	
R04005	技師 (B)		1.060 人	49,300	52,258	
	合計				118,614	算出数量 1.000 回
	単価		回		118,614	
	*** S単- 15号 ***					
S63024	業務報告書作成 (その他)				1.000 式	歩A 当たり算出
	業務報告書作成 (その他) 1, A-4以下, 1000, 1, A-4以下, 厚手 (金文字入)			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 報告書焼付部数 (部)	1		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
	2) 報告書規格区分	A-4以下		深夜時間: 0.0		
	3) 原稿枚数区分 (枚)	1000				
	4) 表紙部数 (部)	1				
	5) 表紙規格区分	A-4以下				
	6) 表紙区分	厚手 (金文字入)				
P43504	報告書焼付代 (コピー) A-4以下 1000枚		1.000 部	12,700	12,700	
P43450	報告書表紙代 厚手 (金文字入) A-4		1.000 部	6,170	6,170	
	合計				18,870	算出数量 1.000 式
	単価		式		18,870	
	*** S単- 16号 ***					
S63031	《打合せ (設計旅費・交通費)》				1.000 回	歩A 当たり算出
	《打合せ (設計旅費・交通費)》 一般工種・解析等調査業務, 着手前・最終, 通勤により打合せ, ライトバン, 1日, 4時間			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
				豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
	1) 設計工種	一般工種・解析等調査業務		深夜時間: 0.0		
	2) 打合せ内容	着手前・最終				
	3) 主任技師配置人員	1人				
	4) 技師A配置人員	1人				
	5) 技師B配置人員	0人				
	6) 技師C配置人員	0人				
	7) 宿泊区分	通勤により打合せ				
	8) 交通機関区分	ライトバン				
	9) 高速道路往復料金 (税別)	6,690円				
	10) 鉄道往復1人当料金 (税別)	0円				

事業名	国営土地改良事業地区調査
業務名	笠野原地区事業計画書補足検討業務

業務別業務名:設計業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	11)バス往復1人当料金(税別)	0円				
	12)船舶往復1人当料金(税別)	0円				
	13)航空往復1人当料金(税別)	0円				
	14)ライトバン使用日数	1日				
	15)時間区分	4時間				
	16)宿泊料金1式当料金(税別)	0円				
	17)宿泊手当1式当料金(税別)	0円				
	18)落札率	0.000000				
P54301	高速道路等料金					
	消費税抜き	1.000	式	6.690	6.690	
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン駆動]					
	乗車定員5名 排気量1.5L	1.000	日	2.560	2.560	
P34001	ガソリン					
	J I S 2号 レギュラースタンド	10.800	L	146	1.577	
	合計				10.827	算出数量 1.000 回
	単価		回		10.827	
	*** S単- 17号 ***					
S63031	《打合せ(設計旅費・交通費)》		回		1.000	歩A 当たり算出
	《打合せ(設計旅費・交通費)》					
	一般工種・解析等調査業務,中間,通勤により打合せ,ライトバン,1日,4時間					時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0
	1)設計工種	一般工種・解析等調査業務				
	2)打合せ内容	中間				
	3)主任技師配置人員	0人				
	4)技師A配置人員	1人				
	5)技師B配置人員	1人				
	6)技師C配置人員	0人				
	7)宿泊区分	通勤により打合せ				
	8)交通機関区分	ライトバン				
	9)高速道路往復料金(税別)	6,690円				
	10)鉄道往復1人当料金(税別)	0円				
	11)バス往復1人当料金(税別)	0円				
	12)船舶往復1人当料金(税別)	0円				
	13)航空往復1人当料金(税別)	0円				
	14)ライトバン使用日数	1日				
	15)時間区分	4時間				
	16)宿泊料金1式当料金(税別)	0円				
	17)宿泊手当1式当料金(税別)	0円				
	18)落札率	0.000000				
P54301	高速道路等料金					
	消費税抜き	1.000	式	6.690	6.690	
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン駆動]					
	乗車定員5名 排気量1.5L	1.000	日	2.560	2.560	
P34001	ガソリン					
	J I S 2号 レギュラースタンド	10.800	L	146	1.577	
	合計				10.827	算出数量 1.000 回
	単価		回		10.827	
	*** S単- 18号 ***					
S63034	《旅費交通費(設計外業務宿泊)》		式		1.000	歩A 式当たり算出
	《旅費交通費(設計外業務宿泊)》					
	ライトバン,1日,4時間					時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0
	1)交通機関区分	ライトバン				
	2)高速道路往復料金(税別)	6,690円				
	3)鉄道往復料金[全員分合算](税別)	0円				
	4)バス往復料金[全員分合算](税別)	0円				
	5)船舶往復料金[全員分合算](税別)	0円				
	6)航空往復料金[全員分合算](税別)	0円				
	7)ライトバン使用日数	1日				
	8)時間区分	4時間				
	9)宿泊料金[全員分合算](税別)	0円				
	10)宿泊手当[全員分合算](税別)	0円				
	11)落札率	0.000000				
P54301	高速道路等料金					
	消費税抜き	1.000	式	6.690	6.690	
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン駆動]					
	乗車定員5名 排気量1.5L	1.000	日	2.560	2.560	
P34001	ガソリン					
	J I S 2号 レギュラースタンド	10.800	L	146	1.577	
	合計				10.827	算出数量 1.000 式
	単価		式		10.827	

令和8年度 国営土地改良事業地区調査  
笠野原地区事業計画書補足検討業務

特 別 仕 様 書

九州農政局南部九州土地改良調査管理事務所

## 第1章 総 則

### 第1-1条 (適用範囲)

令和8年度国営土地改良事業地区調査笠野原地区事業計画書補足検討業務（以下「本業務」という。）の施行に当たっては、農林水産省農村振興局制定「設計業務共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）によるほか、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

### 第1-2条 (目 的)

本業務は、国営土地改良事業地区調査笠野原地区の一環として、最新のデータを基に、土地改良事業計画書及び用水計画に基づく河川協議書の作成及び更新を行うものである。

### 第1-3条 (場 所)

本業務において対象とする施設の場所は、鹿児島県鹿屋市及び肝属郡肝付町地内で、別添位置図に示すとおりである。

### 第1-4条 (土地への立ち入り等)

作業に伴う立木伐採等については共通仕様書第1-16条によるが、発注者の許可無く土地の踏み荒らし、立木伐採等を行った場合に対する補償は、受注者の責任において処理するものとする。

### 第1-5条 (一般事項)

業務請負契約書及び共通仕様書に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

1. 作業実施順序、方法等は監督職員と密接な連絡を取り、作業の円滑な進捗を図るものとする。
2. 作業に従事する技術者は、対象業務に十分な知識と経験を有した者とする。
3. 受注者は常に業務内容を把握し、業務期間中に監督職員が資料の提出を求めた場合は速やかにこれに応じるものとする。

### 第1-6条 (管理技術者)

管理技術者は、共通仕様書第1-6条第3項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資 格	技 術 部 門	選 択 科 目
技術士	総合技術監理	農業－農業土木 農業－農業農村工学
	農 業	農業土木、農業農村工学
博士	当該業務に関連する学術部門	
シビルコンサルティングマネージャー	農業土木	

### 第1-7条 (照査技術者)

1. 照査技術者は、共通仕様書第1-7条第2項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に係る該当する技術部門・選択科目は、次のとおりである。

資 格	技 術 部 門	選 択 科 目
技術士	総合技術監理	農業－農業土木 農業－農業農村工学
	農 業	農業土木、農業農村工学
博士	当該業務に関連する学術部門	
シビルコンサルティングマネージャー	農業土木	

2. 共通仕様書第1－7条第4項でいう、監督職員が指示する業務の節目とは、次のとおりとする。
  - (1) 業務計画作成段階
  - (2) 用水計画の取りまとめ段階
  - (3) 河川協議資料の取りまとめ段階
  - (4) 土地改良事業計画書の取りまとめ段階
  - (5) 報告書作成段階
  - (6) その他、照査計画作成時において監督職員が指示した場合
3. 当該業務の中で照査技術者は、管理技術者を兼務することはできない。

#### 第1－8条（担当技術者）

担当技術者は、共通仕様書第1－8条によるものとする。

#### 第1－9条（配置技術者の確認）

共通仕様書第1－11条における業務組織計画の作成及び共通仕様書第1－12条に基づく技術者情報の登録に当たっては、次によるものとする。

1. 受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職及び担当する分担業務を明確に記載するものとする。なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。
2. 農業農村整備事業測量調査設計業務実績情報サービスへの技術者情報の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置付けられた技術者を登録対象とする。

#### 第1－10条（保険加入）

受注者は、共通仕様書第1－37条に示されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。また、監督職員からの請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

## 第2章 作業条件

#### 第2－1条（作業条件）

本業務の実施に当たっては、以下の事項に留意して作業を進めるものとする。

1. 作業の実施に当たっては、事前に作業方法及び具体的な工程計画を立案し、監督職員及び監督職員が指示する者と十分打合せを行い、手戻りのないよう留意しなければならない。
2. 本業務において生じた第三者との紛争で受注者の責に帰する事項は、受注者の責任において処理しなければならない。
3. 現地調査に伴い、施設内に立ち入る場合は、監督職員と打合せを行い、施設管理者と調整を行うものとする。
4. 作業上支障となる状態が発生した場合は、監督職員と協議するものとする。

#### 第2－2条（基本条件）

本業務の設計作業における基本条件は、次のとおりである。

##### 1. 地区概要

項目	数量等	備考
受益面積	2,302ha（令和7年4月時点）	
整備計画	高隈ダム取水塔・洪水吐きゲート・管理棟、貯水池法面对策、堆砂対策、地区外導水路（改修）、幹線水路（改修）、揚水・加圧機場（改修）、調整池（改修）、水管理施設（改修）	

第2-3条（参考図書）

設計作業の参考にする図書は、共通仕様書第2-1条によるほか、次表によるものとする。

番号	名 称	発行所	制定(改訂)年月
1	国営土地改良事業 調査計画マニュアル	(社) 農業土木事業協会	平成6年6月
2	農業農村整備事業計画作成便覧	(株) 地球社	平成15年8月
3	土地改良事業計画設計基準農業用水(畑)	(公社) 農業農村工学会	平成27年5月
4	国営土地改良事業計画書の記載方法	農林水産省農村振興局	令和7年5月

第2-4条（貸与資料等）

本業務における貸与資料は次のとおりである。

番号	貸 与 資 料	数量
1	令和5年度 国営造成水利施設ストックマネジメント事業 笠野原地区高隈ダム付帯設備耐震性能照査検討業務 報告書	1部
2	令和5年度 地域整備方向検討調査 笠野原地域高隈ダム堆砂対策補足設計業務 報告書	1部
3	令和5年度 地域整備方向検討調査 笠野原地域幹線水路他整備構想検討業務 報告書	1部
4	令和5年度 地域整備方向検討調査 笠野原地域用水計画検討業務 報告書	1部
5	堆砂測量成果	1式
6	令和6年度 国営造成水利施設ストックマネジメント事業 笠野原地区地区外導水路機能診断調査業務報告書	1式
7	令和6年度 地域整備方向検討調査 笠野原地域とりまとめ他検討業務 報告書	1式
8	令和6年度 地域整備方向検討調査 笠野原地域環境配慮整備構想補足検討業務 報告書	1式
9	令和6年度 地域整備方向検討調査 笠野原地域営農計画及び費用対効果更新その他業務報告書	1式
10	令和7年度 国営土地改良事業地区調査 笠野原地区施設計画補足設計業務 報告書	1式
11	令和7年度 国営土地改良事業地区調査 笠野原地区営農計画及び費用対効果更新業務 報告書	1式
12	令和7年度 国営土地改良事業地区調査 笠野原地区環境配慮計画取りまとめ業務 報告書	1式
13	令和7年度 国営土地改良事業地区調査 笠野原地区事業計画書作成その他業務 報告書	1式
14	業務実施上、監督職員が必要と認める資料	1式

第2-5条（参考図書及び貸与資料の取扱い）

第2-3条、第2-4条に示す参考図書及び貸与資料の取扱いは次のとおりとする。

1. 参考図書及び貸与資料の記載事項に相互に矛盾がある場合、又は解釈に疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
2. 参考図書は、作業時点の最新版を用いることとし、設計作業中に改訂された場合には、監督職員と協議するものとする。
3. 貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員の請求があった場合のほか完了検査時に一括返納しなければならない。

## 第2-6条（関連業務）

本業務と関連する他業務は次のとおりであり、監督職員及び関連業務の管理技術者と連携を密にして、互いに協調の図られた設計としなければならない。

業 務 名	業務実施期間（予定）
令和8年度 国営土地改良事業地区調査 笠野原地区施設計画補足設計その他業務	R8.5～R9.2
令和8年度 国営土地改良事業地区調査 笠野原地区費用対効果更新その他業務（仮称）	R8.5～R9.2

## 第3章 作業内容

### 第3-1条（作業項目及び数量）

本業務における作業項目及び数量は、次項の作業項目表のとおりである。

なお、用水計画及び施設整備計画に関する作業の詳細は別紙1「作業項目内訳表」に示すものとする。

#### 【作業項目表】

作 業 項 目	数 量	備 考
1. 準備作業	1式	
2. 用水計画の更新	1式	
3. 河川協議資料の更新	1式	
4. 土地改良事業計画書の更新	1式	
5. 照査	1式	
6. 点検取りまとめ	1式	

### 第3-2条（作業の留意点）

設計作業の実施に当たって、特に留意する点は、次のとおりとする。

1. 電算機を使用する場合は、計算手法及びアウトプット等の様式について事前に監督職員の承諾を得るものとする。
2. 第2-3条、第2-4条及び共通仕様書に示す参考図書、貸与資料や受注者が有する資料等を参考にした場合は、その出典を明示するものとする。
3. 現地調査において著しく機能が低下している施設を発見した場合は、遅滞なく監督職員へ報告するものとする。
4. 現地調査等施設の状況確認を行う場合は、できる限り施設管理者の同行による意見・助言を受けて実施するものとする。
5. 詳細な現地調査の必要性については、監督職員と協議するものとする。
6. その他の不明な点については、監督職員と協議の上、方針を定めるものとする。

## 第4章 打合せ

### 第4-1条（打合せ）

共通仕様書第1-10条による打合せについては、主として次の段階で行うものとする。

また、初回及び最終回の打合せには管理技術者が出席するものとする。

- 初 回 業務計画書作成段階
- 第2回 中間打合せ（用水計画の更新段階）
- 第3回 中間打合せ（河川協議資料の更新段階）
- 第4回 中間打合せ（土地改良事業計画書の更新段階）
- 最終回 報告書原稿作成段階

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は、業務打合せ記録簿を作成

し、上記の打合せの都度内容について、監督職員と相互に確認するものとする。

## 第5章 成果物

### 第5-1条 (成果物)

成果物を共通仕様書第1-17条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

1. 成果物の電子媒体 (CD-R 若しくは DVD-R) 正副2部
2. 成果物の出力1部 (黄色 (JIS Z8102:2001 に規定する色 No. 61) 表紙、黒文字製本)

なお、報告書の最前部には、本業務の要約版を掲載するものとするとし、その内容は、別途監督職員の指示によるものとする。

### 第5-2条 (成果物の提出先)

成果物の提出先は、次のとおりとする。

宮崎県都城市志比田町4778-1

九州農政局南部九州土地改良調査管理事務所

## 第6章 契約変更

### 第6-1条 (契約変更)

業務請負契約書第17条から第20条に規定する発注者と受注者による協議事項は次のとおりとする。

- (1) 第2-2条に示す「基本条件」に変更が生じた場合。
- (2) 第3-1条に示す「作業項目及び数量」に変更が生じた場合。
- (3) 第4-1条に示す「打合せ」に変更が生じた場合。
- (4) 第5-1条に示す「成果物」に変更が生じた場合。
- (5) 履行期間の変更が生じた場合。
- (6) 関係機関等の対外的協議等により、設計計画等に変更が生じた場合。
- (7) その他

### 第6-2条 (業務スライドの試行)

1. 本業務は、「建設コンサルタント業務等における賃金等の変動に基づく業務費の変更の取扱いについて(試行)」(令和7年12月17日付け7農振第2167号農村振興局整備部設計課長通知)(URL「<https://www.maff.go.jp/j/nousin/sekkei/attach/pdf/index-256.pdf>」)に基づく試行業務である。

2. 発注者又は受注者は、履行期間内で業務契約締結の日から12月を経過した後日本国内における賃金水準又は物価水準の変動により業務費が不相当となったと認めるときは、相手方に対して業務費の変更を請求することができる。

3. 発注者又は受注者は、2.の規定による請求があったときは、変動前残業務費(業務費から当該請求時の履行済部分に相応する業務費を控除した額をいう。以下この条において同じ。)と変動後残業務費(変動後の賃金又は物価を基礎として算出した変動前残業務費に相応する額をいう。以下この条において同じ。)との差額のうち変動前残業務費の1000分の15を超える額につき、業務費の変更に応じなければならない。

4. 変動前残業務費及び変動後残業務費は、請求のあった日を基準とし、物価指数等に基づき発注者と受注者とが協議して定める。

ただし、協議開始の日から14日以内に協議が整わない場合にあっては、発注者が定め、受注者に通知する。

5. 2.の規定による請求は、この条の規定により業務費の変更を行った後再度行うことができ

る。この場合において、2. 中「業務契約締結の日」とあるのは、「直前のこの条に基づく業務費変更の基準とした日」とするものとする。

6. 予期することのできない特別の事情により、履行期間内に日本国内において急激なインフレーション又はデフレーションを生じ、業務費が著しく不相当となったときは、発注者又は受注者は、2.～5.の定めにかかわらず、業務費の変更を請求することができる。

7. 6.の場合において、業務費の変更額については、発注者と受注者とが協議して定める。

ただし、協議開始の日から14日以内に協議が整わない場合にあつては、発注者が定め、受注者に通知する。

8. 4. 及び7.の協議開始の日については、発注者が受注者の意見を聴いて定め、受注者に通知しなければならない。

ただし、発注者が2. 及び6. の請求を行った日又は受けた日から7日以内に協議開始の日を通知しない場合には、受注者は、協議開始の日を定め、発注者に通知することができる。

9. 業務スライドの試行に係る運用については、1.に記載の通知に基づくものとする。

## 第7章 その他

### 第7-1条（定めなき事項）

この特別仕様書に定めなき事項又は本業務の実施に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

別紙1【作業項目内訳表】

作業項目	作業内容	備考
1. 準備作業		
1-1. 現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>本業務に必要な受益地及び各施設について、現地調査を行う。</li> </ul>	
1-2. 既存資料の把握・整理	<ul style="list-style-type: none"> <li>本業務の検討に必要な貸与資料の内容を把握・整理を行い、業務計画を作成する。</li> </ul>	
2. 用水計画の更新		
2-1. 用水計画諸元の整理	<ul style="list-style-type: none"> <li>関連業務の報告書をもとに、現行水利使用規則（令和5年3月）と事業計画（案）に係る用水諸元を精査するとともに対比表を更新する。なお、精査する用水諸元は、下記項目を整理する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>①かんがい面積</li> <li>②畑かん用水（かんがい期間、かんがい方式、消費水量、TRAM・間断日数、有効雨量、かんがい効率、かん水率、建ぺい率）</li> <li>③他目的用水（防霜用水（春・秋）、降灰除去用水、防除用水（春～秋）、土壌改良用水（普通畑・施設畑））、湛水防除用水（畝立て）</li> </ul> </li> </ul>	
2-2. 計画基準年の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画基準年について、最近年（S43～R7）の検証を行う。</li> </ul>	
2-3. 水収支計算	<ul style="list-style-type: none"> <li>過年度業務及び関連業務で実施する土地利用計画（案）に基づき水収支計算を行い、期別最大取水量を算定し年間総用水量の精査を行う。</li> <li>上記 2-1～2-2 及び水収支計算に基づき、現行水利使用規則の期別取水パターンと計画取水パターン図を更新する。</li> </ul>	
3. 河川協議資料の更新		
3-1. 河川協議書（案）の更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>上記 2. に関わる変更協議について、河川法第 23 条に基づく河川協議書（案）の更新を行う。</li> </ul>	
4. 土地改良事業計画書の更新		
4-1. 土地改良事業計画書（案）の更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>土地改良事業計画書（案）について、第 2-6 条の関連業務成果及び上記 2. と上記 3. の結果を基に更新する。更新する項目については、別紙 2 を想定している。</li> </ul>	
4-2. 土地改良事業計画書（案）補足説明資料の更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>土地改良事業計画書（案）補足説明資料について、第 2-6 条の関連業務成果及び上記 2. と上記 3. の結果を基に更新する。土地改良事業計画書（案）の本省の審査による指摘の対応は 2 回を予定する。</li> </ul>	
4-3. 新規地区検討会資料の更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>過年度に取りまとめた新規地区検討会資料について、別紙 3 の項目について、上記 4-1、4-2 の成果等を基にチェックリストに添付する資料を更新する。（参考）新規地区検討会資料 A 版、300 ページ程度</li> </ul>	

作業項目	作業内容	備考
5. 照査	・ 照査計画に基づき、業務の節目毎に照査を実施し、照査報告書の作成を行う。	
6. 点検取りまとめ	・ 業務成果資料の点検及び取りまとめを行い、報告書を作成する。	

別紙2 土地改良事業計画書（案）の更新対象となる作業内容は以下のとおりである。

項 目	更新 対象
第1章 目的	○
第2章 地域及び地積	
第1節 地域	○
第2節 地積	○
第3章 現況	
第1節 気象	
1. 一般気象	○
2. 特殊気象	○
第2節 土地状況	
1. 地形、土壌	○
2. 土地利用の状況	○
3. 土地所有の状況	○
第3節 水利状況	
1. 用水状況	○
(1) 用水系統	○
(2) 用水施設	○
(ア) 取水方法一覧表	○
(イ) 改修を要する施設一覧表	○
2. 排水状況	○
3. 河川状況	○
第4節 道路概況	
1. 道路概況	○
第5節 地域農業の概況	
1. 産業別就業人口	○
2. 経営耕地広狭別農業経営体数	○
3. 主要家畜頭数	○
4. 主要作物作付状況	○
5. 農業の動向	○
第6節 地域環境の概況	○
第4章 一般計画	
第1節 事業計画の要旨	
1. 要旨	○
2. 事業別面積	○
第2節 営農計画及び土地利用計画	
1. 営農計画の概要	○
2. 土地利用区分	○
3. 作付方式	○
4. 生産計画	○
第3節 用水計画	
1. 計画基準年	○
2. 計画かんがい方式	○
3. 計画用水系統	○
4. 計画用水量	○
5. 水源計画	
(1) 水利用計画	○
(2) 用水対策	
(ア) 貯水池	○
(イ) 井堰及び自然取水口	○
(ウ) 揚水機	○
(エ) 用水路	○

項 目	更新 対象
第5章 主要工事計画	
第1節 用水施設	
1. 貯水池	○
2. 頭首工	該当なし
3. 揚水機	○
4. 用水路	○
5. その他かんがい施設	○
第6章 附帯工事計画	該当なし
第7章 工事の着手及び完了の予定時期	○
第8章 環境との調和への配慮	○
第9章 事業費の総額及び内訳	○
第10章 効用	○
第11章 関連する事業	○
第12章 現況・計画図面	
1. 現況平面図	○
2. 計画平面図及び土地利用計画図	○
3. 主要構造図	○
4. 図面目録	○

更新対象：過年度業務及び関連業務等の成果を土地改良事業計画書(案)及び補足説明資料に取り込み更新する。

別紙3 新規地区検討会資料（チェックリスト）の更新項目は以下のとおりである。

**I. 必須事項**

項目	評価の内容
1. 事業の必要性が明確であること（必要性）	・農業生産性の向上、農業総生産の維持・増大、農業生産の選択的拡大、農業構造の改善等の観点から、当該事業を必要とすること。
2. 技術的可能性が確実であること。	・地形・地質、水利状況等からみて、当該事業の施行が技術的に可能であること。
3. 事業の効率性が十分見込まれること。（効率性）	・当該事業のすべての効用がそのすべての費用を償うこと。
4. 受益者負担の可能性が十分であること。（公平性）	・当該事業の費用に係る受益農家の負担が、農業経営の状況からみて、負担能力の限度を超えることとはならないこと。
5. 環境との調和に配慮していること。	・当該事業が環境との調和に配慮したものであること。
6. 事業の採択要件を満たしていること。	・事業実施要綱・要領に規定された事業内容、採択基準の要件に適合していること。

**II. 優先配慮事項**

【効率性・有効性】

評価項目			評価指標
大項目	中項目	小項目	
効率性	事業の経済性、効率性		①事業費の経済性・効率性の確保 ②コスト縮減についての具体的配慮
有効性	食料安全保障の確保	農業生産性の維持・向上	土地生産性及び労働生産性の維持・向上効果額（受益面積当たり） スマート農業技術等の導入
		産地収益力の向上	①高収益作物の生産額の増加率 ②高収益作物の作付面積の増加率
	農業の持続的発展	望ましい農業構造の確立	担い手への農地利用集積率
		農地の確保・有効利用	①耕地利用率 ②作付率の増加ポイント
	農業の持続的発展	農業生産基盤の保全管理	緊急性を踏まえた更新等整備
			施設の健全度評価を踏まえた更新等整備
			施設の需要度評価を踏まえた更新等整備
			重要度の高い国営造成施設における耐震化
農村の振興	地域経済への波及効果	他産業への経済波及効果額（受益面積当たり）	
	農業の高付加価値化	農業の高付加価値化	
多面的機能の発揮	地域の共同活動	多面的機能支払交付金の取組	

環境と調和のとれた食料システムの確立	みどりの食料システム戦略に係る取組	「みどりの食料システム戦略」に係る取組の検討状況
	生態系・景観への配慮	①環境情報協議会等の意見を踏まえた生態系及び景観への配慮 ②地域住民の参加や地域住民との合意形成への取組 ③維持管理、費用負担、モニタリング体制等の調整状況

【事業の実施環境等】

評価項目			評価指標
大項目	中項目	小項目	
事業の実施環境等	連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定		連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定状況
	関係計画との連携		①関係県や市町の農業振興計画と本事業との整合性 ②関係県や市町の国土強靱化地域計画と本事業との整合性 ③地域計画と本事業との整合性 ④地域における開発計画と本事業との整合性 ⑤関係計画における関連事業等への位置付け
	関係機関との協議		①河川管理者との協議（予備）の状況 ②漁協との協議（予備）の状況 ③その他着工前に重要な協議（予備）の状況
	関連事業との調整		①事業主体から概略構想（関連事業調書）の提出 ②共同事業（事業内容、事業費、アロケーション等）の事前了解
	地元合意		①事業実施に対する受益農家の同意状況 ②事業実施に対する関係市町の同意状況 ③事業推進協議会から着工要望の提出 ④維持管理方法と費用負担に関する予定管理者との合意 ⑤事業に伴う土地利用規則の周知状況
	営農推進体制・環境		①営農部局との連携 ②営農推進組織等（営農支援体制）の設立状況 ③農産物の流通・販売基盤の整備状況 ④需要に応じた生産の取組状況 ⑤フラッグシップ輸出産地又は輸出事業計画（GFP グローバル産地計画）の対象となる作物の営農計画への位置付け状況
	ストック効果の最大化		ストック効果の最大化に向けた事業の効率性・有効性等の確保

III. 特定監視項目

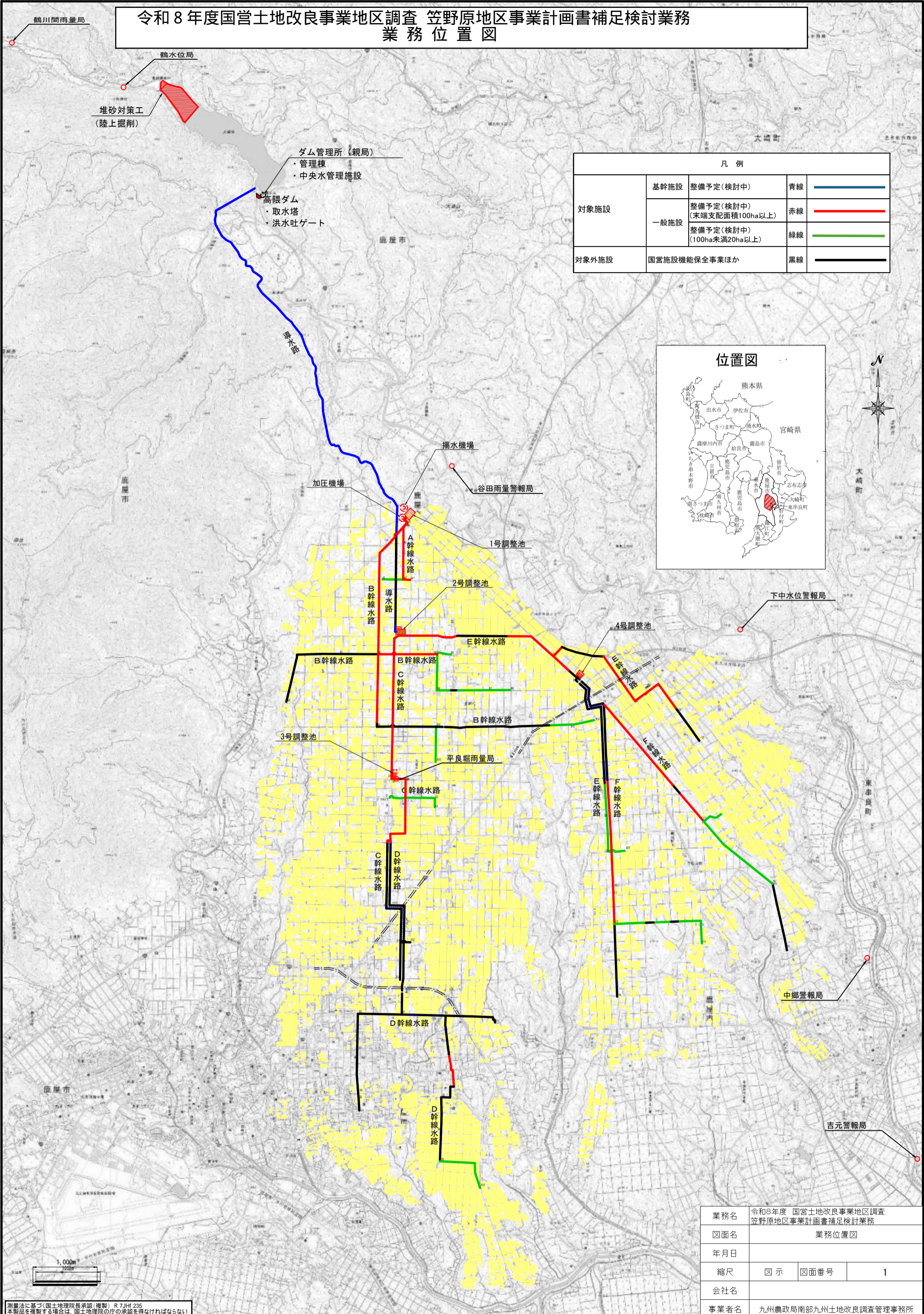
項目	評価の内容
1. 地質状況	・地質状況に基づいた施設計画としている。
2. 受益面積	・最近年の面積を把握している。

令和8年度 国営土地改良事業地区調査  
笠野原地区事業計画書補足検討業務

図 面 目 録

番号	名称	枚数
1	業務位置図	1
	合 計	1

令和8年度国営土地改良事業地区調査 笠野原地区事業計画書補足検討業務  
業務位置図



凡例			
対象施設	基幹施設	整備予定(検討中)	青線
	一般施設	整備予定(検討中) (末端支配面積100ha以上)	赤線
		整備予定(検討中) (100ha未満20ha以上)	緑線
対象外施設	国営施設機能保全事業ほか		黒線



業務名	令和8年度 国営土地改良事業地区調査 笠野原地区事業計画書補足検討業務		
図面名	業務位置図		
年月日			
縮尺	図示	図面番号	1
会社名			
事業者名	九州農政局南部九州土地改良調査管理事務所		

測量法に基づき(国土地理院長承認(複製) R7JH 235  
本製品を複製する場合は、国土地理院の庁の承認を得なければならない